



# 白河市 議会だより

2026.5.1  
3月定例会～vol.83

## 議員視点の注目事業 令和8年度 当初予算



3月定例会	2～4 p
総括質疑・討論	5 p
請願・陳情・議案	6 p
人事案件・採決	7 p
各常任委員会の審査	8～10 p
議員定数等特別委員会設置	10 p
市議会議員研修会 行政視察リポート	11 p
一般質問	12～15 p
6月定例会予定 「安珍・清姫供養祭」	16 p
編集後記	16 p

発行者  
白河市議会



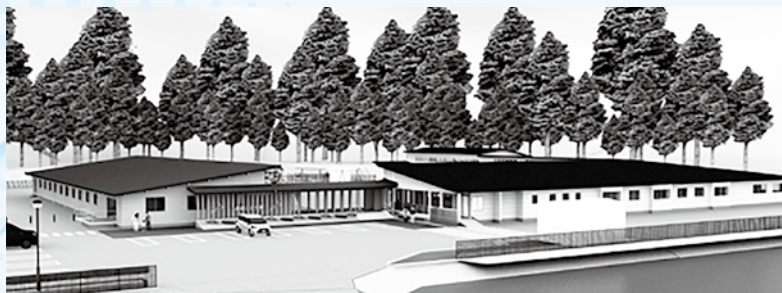
# 3月定例会

3月定例会が、2月25日から3月16日までの20日間の会期で開かれました。開会日には鈴木和夫市長より施政方針が述べられ、一般質問では11名、総括質疑では1名の議員が市の考えを質しました。市長提出議案は59件、令和7年度補正予算、条例の一部改正、令和8年度一般、特別、企業会計各予算、人事案件などを審議しました。議員提出議案は3件で、いずれも原案のとおり可決・承認及び同意されました。



定率タクシー事業

今号では新年度の概要と主な事業（2～4頁）、総括質疑（5頁）、賛否が分かれた令和8年度一般会計予算に関する討論（5頁）、請願・陳情・議会案（6頁）を主にお知らせします。



表郷こども園イメージ図

## 議案ピックアップ

◆市長提出議案  
……………59件



◆請願・陳情  
……………2件



◆議員提出議案……………3件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



## 新年度当初予算総額 535億9千万円

内訳

一般会計	346億8千万円
特別会計	約125億1千万円
企業会計	約64億円



福祉や教育、消防、公共施設の整備、市役所の運営など住民にとって身近なものに使われる会計。

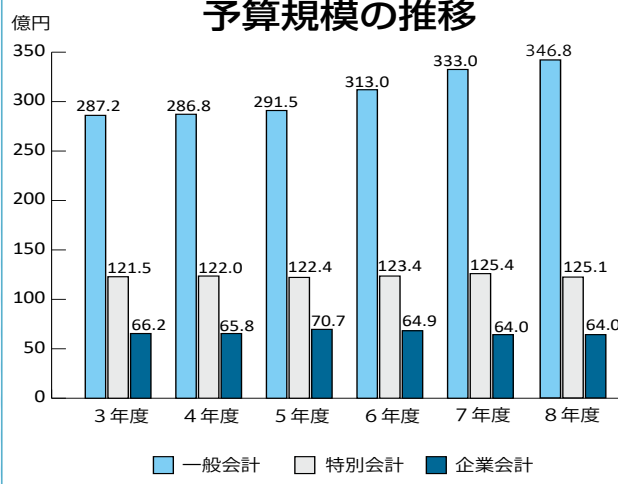


特定の目的や収入がある事業を一般会計と切り離して行われる会計。本市は小田川、大屋、樋ヶ沢の各財産区や国民健康保険、介護保険、地方卸売市場特別会計などがある。



水道事業や下水道事業のように独立採算による特定の事業を経理する会計。

## 予算規模の推移



## 新年度一般会計予算

**346億8千万円**  
(令和7年度比較13億8千万円(4.1%)の増)

『少子化対策』『未来への投資』『居場所づくり』

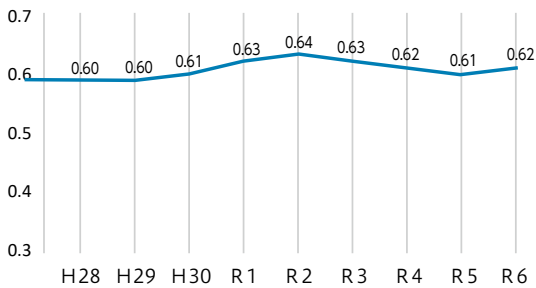
# 令和8年度予算の概要

一般会計の予算額は346億8千万円となり、対前年比で13億8千万円、率にして4.1%の増、特別会計及び企業会計を含めた全会計の予算規模は、535億9千万円となり、前年度比較で13億4千万円、率にして2.6%の増となりました。

## 市の財政を見る3つのポイント 合併後からの3つの指標

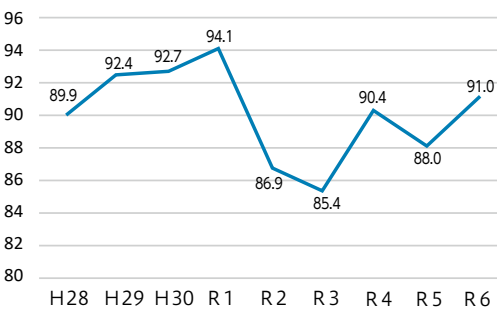
### 議員の視点から見る、本市の財政力

#### ① 財政力指数



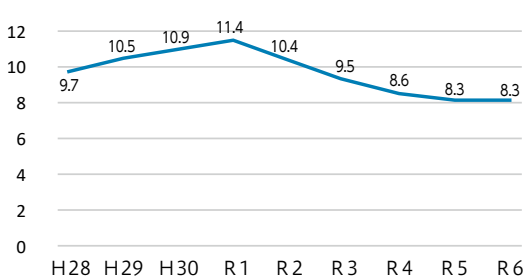
予算のうち、どのくらいを自前の税収で賄えているかを表します。この指数が高いほど財政力が高いことを示しています。

#### ② 経常収支比率



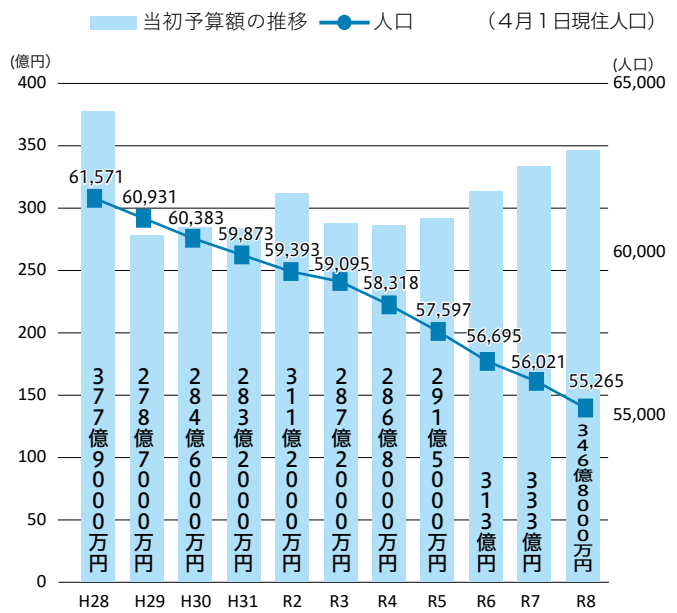
人件費等毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多いこととなります。

#### ③ 実質公債費比率

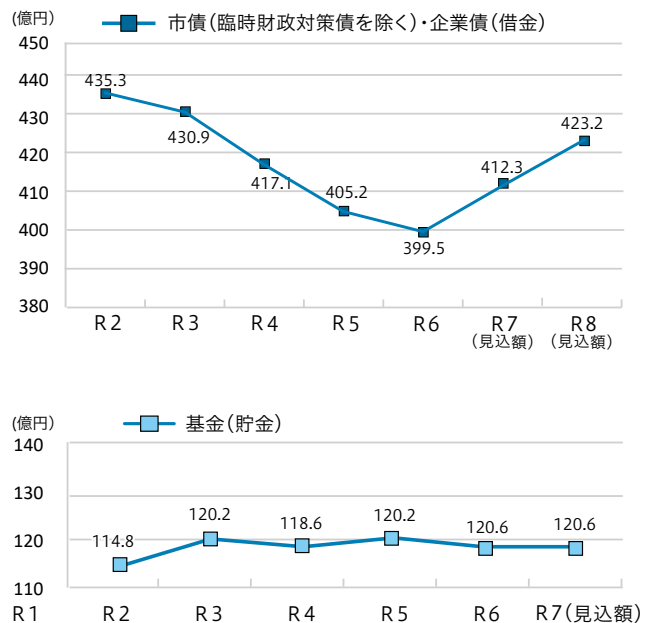


一般会計が負担する借返済費用の割合。数値が高いほど他の事業にあてる財源を圧迫することとなります。

## 一般会計当初予算と人口の推移



## 貯金と借金の状況



### 表郷こども園整備事業

継続

4億292万7千円

おもてごう保育園を表郷幼稚園の隣接地に移転新築し、表郷幼稚園と併せて「表郷こども園」を整備するため、令和7年度に引き続き建築工事を行う。



建築工事の様子

### 複合施設整備事業

継続

31億9,092万円

市民会館跡地に、「生きがづくり」・「子育て支援」・「健康増進」の機能を柱とした複合施設を整備し、未来の白河をつくるための拠点となるよう、開館に向けた準備とともに、引き続き施設本体工事を進める。



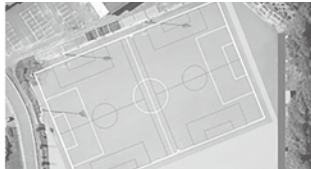
複合施設イメージ

### グリーンフィールド整備事業

継続

4億3,641万4千円

スポーツ環境の整備・充実を図るため、県内で初めてとなる、サッカー競技を中心とした多目的な人工芝のグラウンドを整備する。



人工芝化のイメージ

### 清水門復元整備事業

継続

1億9,024万7千円

小峰城の価値をさらに高めるため、二之丸と本丸を結ぶ重要な門であり、城内最大規模を誇った清水門の復元整備を実施する。



復元中の清水門

### 危険鳥獣等対策事業

新規

249万3千円

人の日常生活圏に危険鳥獣が出没した際に、関係機関が連携して迅速かつ適正に対応し、人身被害の発生を未然に防止するとともに、市民の安全・安心を確保するための取組を行う。



緊急狩猟のイメージ

### 定率タクシー支援事業

新規

2,032万3千円

市内各地の地域性や需要を調査した実証実験を踏まえ、交通弱者の身体的・経済的な移動負担を減らすことを目的として、市内全域で一定の要件を満たす方のタクシー料金の1/2を補助する。



### 給食費負担軽減事業

拡充

2億3,860万6千円

小学校は、これまでの物価高騰対策の臨時交付金に加え、国による学校給食の負担軽減のための支援等を活用することで、給食費を実質無償とする。中学校は、引き続き高騰分補助を継続し、保護者の経済的負担の軽減を図る。



給食の様子

### 街なか居住推進事業

新規

2,296万円

本市への定住を促進するとともに、主要施設が集積する白河駅及び新白河駅周辺の人口密度を高めるため、中心市街地及び街なか居住区域に住宅を取得した子育て世帯の方に対し、当該住宅購入費用を支援する。



街なか住宅取得者

# 総括質疑



深谷 弘 議員

Q 令和8年度一般会計のキャリアサポート事業について、この事業は令和8年度新規事業であるが、どのような事業なのか。委託料1,162万円が計上されているが、その積算根拠、委託業者の選定について伺う。

A 3年間の事業計画で、仕事と家事・育児との両立をめざす女性が調和をとりながら働けるよう、不安解消や仲間づくり、就労支援に関する取り組みを行うほか、令和9年7月オープン of 複合施設に設置する「キャリアサポートステーションしらかわ」開館に向けた準備、開館後の運営業務を行うものである。

委託料については、令和3年度から今年度まで実施してきた女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業で実施してきたセミナー、企業訪問ツアー、インターンシップなどの実績を参考に積算した。受託業者は、企画提案型のプロポーザル方式により、提案された実施回数・時間数、実施時期などを踏まえ協議検討し、選定していきたい。



質疑とは、議会に提出された議案について疑問や不明確な点があるときに説明を求めるもの。提案された議案に関係することしか質問できません。3月定例会では、一般質問（12～15P）と分けて行っています。

## 賛成か反対か



議案に対し賛成か反対か、自ら意見を表明し、その理由等を述べる事が討論です。

### 討論の対象議案

○議案第20号 令和8年度白河市一般会計予算

### 常任委員会の採決

各常任委員会に付託され審議した結果、議案第20号を原案のとおり可決することについて→**全会一致もしくは賛成多数で可決**

## 賛成

### 本会議の討論

## 反対



佐川 琴次 議員

新年度の一般会計当初予算案は、今後、人口減少・高齢化社会において、無理に現状を維持せず、地域機能や行政サービスを戦略的に縮小、効率化することで、持続可能な生活圏の未来を再構築する視点を取り入れつつ、直面する行政課題に的確に対応する予算である。

歳入では、企業の設備投資による固定資産税の伸びなどにより、市税収入を過去最高に見込んでおり、積極的、効果的に国県補助金や基金を活用するなど、必要な財源確保に努められたものと考えている。

また、歳出では、物価高や賃上げに伴い、全般的な経常経費の増加に対応しながらも、互いの個性を尊重しながら地域や人との絆を深め、「私らしく心地よく暮らせるまち」をテーマとして、6つの重点分野に必要な予算をバランス良く盛り込んでいる。これらの施策が、市民一人ひとりがふるさとに誇りを持ち、「住んでよかった」「住み続けたい」と実感できる豊かな未来を築かれるものと期待して、議案第20号令和8年度白河市一般会計予算に賛成する。

深谷 弘 議員

本予算案は、市民の願いや期待に応えたものと評価できない。具体的には、学校給食費無償化を求める世論を背景に、国が令和8年度から実施する「抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)」方針による給食費負担軽減事業である。これにより、市においては小学校給食費の保護者負担をなくしたことは大変評価すべきものであるが、中学校については国の方針次第で、いつになるか分からない。

学校給食費無償化は、地方自治体の独自施策として全国に広がってきた。私は、市においても小・中学校給食費無償化実施を提案してきたが、「財源の継続的な確保」を理由に実現に至らず。市は国の動向を注視するスタンスをとってきた。

小・中学校無償化に必要な財源は、これまで年間約2億5千万円との答弁があった。今回の国の方針により必要な財源は減少することになる。市財政は、常に80億円超の積立金(余裕財源)がある。「財源の継続的な確保」というなら、市の判断で実現できるのではないかと。

# 請願・陳情・議会案

## 採択か不採択か



提出された請願・陳情は付託された委員会で審査した後本会議で審査します。

### 請願第1号



採択

### 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について

請願者 日本労働組合総連合会福島県連合会  
白河地区連合 議長 藤田 隆司

#### 〈要旨〉

- 2025春闘では過去最高水準の賃上げが実現したものの、物価高によって実質賃金は低下している。
- 福島県の人口流出抑制策となる最低賃金の引き上げと早期発効は重要な政策と考える。
- 1. 政府目標である全国平均1,500円の達成に向け、福島県最低賃金の継続的かつ着実な引き上げを行うこと。
- 2. 中小・零細企業においても、最低賃金の引き上げが着実にされるよう、価格転嫁を可能とする環境整備並びに支援策の周知徹底をはかること。

#### 〈議会運営委員会での審査経過〉

採択すべきとの意見のほか、賃上げは反対しないが、赤字経営の事業者もあり一律の賃上げは困難として不採択との意見がありました。採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。

### 陳情第2号



採択

### 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

陳情者 福島県を明るくする会  
白河支部 代表 瀧波 宏行

#### 〈要旨〉

- 新宿区では、管理職132人のアンケート結果において、85.2%が区議から政党機関紙の購読勧誘を受けた経験があり、そのうち64.3%が「心理的な圧力を感じた」と回答している。
- 1. 庁舎内において、職員が地方議員から政党機関紙の勧誘を受け、心理的な圧力を感じたり、断りきれずに購読しているという実態がないかについて調査・確認するよう行政に求めること。
- 2. 心理的圧力と確認された場合には当該職員の意思が尊重されるよう適切な対応を行うこと。

#### 〈総務常任委員会での審査経過〉

議員から職員への、見えない圧力はあると考えられる。職員を守る観点から、採択すべきとの意見がありました。採決の結果、全会一致で原案のとおり採択すべきものと決しました。

請願第1号は採決の結果、賛成多数で採択、そののち意見書案としても賛成多数で採択され、意見書として関係機関に提出しました。



地方議会に対する請願の提出には紹介議員が必要。提出された請願は、議会としての採択、不採択の決定をする。



議会としての意見や要望を意見書として国会、関係行政に提出できること。



議会などに対して、市民が実情や意見を伝え、具体的な施策や善処を求めること。請願と異なり、議員の紹介が必要なく、個人や団体がどなたでも提出できる。

### 議会案第1号

### 白河市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例



可決

〈要旨〉 議長の月額報酬463,000円を481,000円に、副議長の同報酬406,000円を422,000円に、議員の同報酬385,000円を400,000円に改める。

#### 〈議会運営委員会の提案理由〉

平成23年度以来14年ぶりに「特別職報酬等審議会」が開催され、日本経済の低迷に加え、東日本大震災等の極めて厳しい社会情勢により20年余り据え置きであった議員報酬について、ここ数年の緩やかな景気の回復基調等を鑑みて、報酬等審議会から「議員報酬について4%程度の引き上げ」が答申で示されたため、所用の改正を行うもの。

# 人事案件

●人権擁護委員の候補者の推薦について、原案のとおり同意しました。

## 議案第40号 人権擁護委員の候補者の推薦について

會田 智子 東上野出島・再任

任期：3年 令和8年7月1日～令和11年6月30日



人権擁護委員とは、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したりして、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるよう啓発活動をしています。

●各財産区管理会委員の選任について、原案のとおり同意しました。



「財産区」が所有する財産（山林、土地、基金など）を適切に管理・処分するために設置される管理会の委員。

議案名と委員の任期	委員の氏名(敬称略)			
<b>議案第41～47号</b> <b>小田川財産区管理会委員の選任について</b> 任期：4年 令和8年4月1日～令和12年3月31日	星 倉夫 (小田川・再任)	鈴木 稔 (小田川・新任)	鈴木 喜幸 (萱根・再任)	藤田 光孝 (泉田・再任)
	鈴木 喜幸 (萱根・再任)	鈴木 長一 (大信隈戸・再任)	森 正樹 (大信隈戸・新任)	班目 正男 (大信隈戸・再任)
	高久 亨 (大信隈戸・新任)	菅森 利栄 (大信隈戸・再任)	岡部 修一 (大信隈戸・再任)	鈴木 長一 (大信隈戸・再任)
<b>議案第48～54号</b> <b>大屋財産区管理会委員の選任について</b> 任期：4年 令和8年4月1日～令和12年3月31日	高久 亨 (大信隈戸・新任)	菅森 利栄 (大信隈戸・再任)	岡部 修一 (大信隈戸・再任)	鈴木 長一 (大信隈戸・再任)
	高久 亨 (大信隈戸・新任)	菅森 利栄 (大信隈戸・再任)	岡部 修一 (大信隈戸・再任)	鈴木 長一 (大信隈戸・再任)
<b>議案第55～61号</b> <b>樋ヶ沢財産区管理会委員の選任について</b> 任期：4年 令和8年4月1日～令和12年3月31日	森 正樹 (大信隈戸・新任)	班目 正男 (大信隈戸・再任)	渡部 健次 (大信下小屋・新任)	國井 直己 (大信増見・新任)
	森 正樹 (大信隈戸・新任)	班目 正男 (大信隈戸・再任)	渡部 健次 (大信下小屋・新任)	國井 直己 (大信増見・新任)
	高久 亨 (大信隈戸・新任)	菅森 利栄 (大信隈戸・再任)	岡部 修一 (大信隈戸・再任)	鈴木 長一 (大信隈戸・再任)

## ◆白河市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

地方自治法の規定により議会の選挙において、8名の方が当選されました。

任 期	氏 名(敬省略)			
<b>委員</b> 任期：4年 令和8年3月24日～令和12年3月23日	藤井勝美 (新白河・再任)	近藤洋一 (表郷番沢・再任)	酒井良子 (東釜子・再任)	
<b>補充員</b> 任期：4年 令和8年3月24日～令和12年3月23日	亀森文子 (大信中新城・新任)	早津和一 (七番町・再任)	吉田義明 (東釜子・再任)	

# 本会議の採決

(賛否がわかれたもの等を記載)

議案名	永山均	遠藤公彦	植村美洋	大木絵理	吉見優一郎	鈴木裕哉	高畠裕	佐川琴次	戸倉宏一	根本建一	室井伸一	緑川撰生	柴原隆夫	菅原修一	北野唯道	水野谷正則	佐川京子	大花務	高橋光雄	大竹功一	筒井孝充	深谷弘	議決結果	
<b>議案第20号</b> 令和8年度白河市一般会計予算 ※○は賛成 ●は反対 退は退席 ※議長(石名国光)は採決に加わらない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	可決 (賛成多数)
<b>請願第1号</b> 福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (賛成多数)
<b>陳情第2号</b> 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	採択 (全会一致)
<b>意見書案第1号</b> 福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成多数)

○議案第3～19号、21～61号、決議案第1号、議会案第1号については、いずれも全会一致で承認、可決または同意しました。

## 総務 常任委員会

# 複合施設整備事業施設建設建築工事費用は、可能な限り国の補助金や基金を活用し、財源確保に努める

議案第3号 専決処分の承認を求めることについてのほか、議案13件が付託され、いずれも原案のとおり承認、可決及び同意されました。

### ● 議案第13号 複合施設整備事業施設建設建築工事請負契約の一部変更について

#### Q | 工期と契約金額の関連について

**A |** 工期については、限られた敷地内で複数の工事作業が重なるため、全体の工程を調整した結果、各設備工事の工期に合わせて31日間延長する。一方、契約金額については、施設利用者の利活用と空間価値の向上を検討した結果、増額分として、内装フローリング等の仕様変更で約1,900万円。減額分として、造作家具を取りやめ既製家具への変更のほか、諸室の仕様見直しなどにより約1億7,784万円。また、急激な物価・賃金の上昇によるインフレスライドにより約2億1,820万円の増加。これらにより計約5,936万円の増額となった。今後も、予期せぬ工事費の増嵩に対しては、可能な限り国の補助金や基金を活用し、財源確保に努めながら、対応していきたい。



複合施設内部イメージ

### ● 議案第33号 令和7年度白河市一般会計予算（第8号）

#### Q | 少年センター運営費の少年補導員報酬が減額補正になった理由について

**A |** これまで放課後に巡回補導を行っていたが、近年は、巡回中に子供を見かけない状況が続いていた。そのため補導の在り方を見直し、イベントに特化した補導に切り替えたため、補導の総回数が減ったことによる減額補正である。



巡回補導の様子

## 市民産業 常任委員会

# 白河市公設地方卸売市場は、生産者の取引量が減っていることから、新年度は事務所や店舗の使用料を1/2減免

議案第5号 白河市旗宿地域振興基金条例のほか、議案7件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

### ● 議案第27号 令和8年度白河市地方卸売市場特別会計予算 卸売市場使用料

#### Q | 卸売市場使用料の減額の理由について

**A |** 生産者の取引量が減っていることから、新年度は事務所や店舗の使用料を1/2減免するためである。



白河市公設地方卸売市場

## ● 議案第20号 令和8年度白河市一般会計予算

### 農業DX推進事業

Q | 営農助っ人アプリ活用事業補助金の内容と対象について

A | 内容は、営農の記録や耕作地の把握、事業継承など負担が大きいものを支援するもので、アプリの使用料の1/2、上限2万円まで補助する事業である。また、対象は、認定農業者、認定新規就農者、集落営農、農業法人等の農業の担い手である。



営農アプリ使用料を補助

### 環境保全促進事業

Q | カーシェアリングサービス利用料の内容と実績について

A | 内容は、イーモというアプリを登録して、白河駅にある電気自動車を利用する事業であり、平日は基本、公用車として利用し、土日祝日は、一般開放して観光客等が利用している。また、令和7年度の2月末までの利用実績としては、利用回数406件、走行距離約16,000kmである。



カーシェアリング

## 教育福祉 常任委員会

# こども誰でも通園制度を実施する事業者の確認基準を定める条例を制定

議案第7号 白河市特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例のほか、議案9件が付託され、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

## ● 議案第7号 白河市特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

Q | 誰でも通園制度の利用時間の上限である月10時間を超えた場合の対応は

A | 一時預かり保育を月4日以内の範囲で利用可能である旨を案内している。

## ● 議案第20号 令和8年度一般会計予算

Q | 「ICT教育環境整備事業」で、タブレットの更新に加え、全ての電子黒板も更新するのか。

A | タブレットについては全てのタブレットが更新対象となるが、電子黒板については、更新ではなく、未設置箇所への計画的な設置にかかる費用である。



タブレット

Q | 「アプリによる子育て世帯の医療相談事業」について、事業の周知方法と詳細について

A | 対象世帯にアプリ利用に関する案内を送付し、アプリのダウンロードをお願いする。当該アプリは子育て世帯1世帯につき5人まで登録可能で、それぞれが医療相談をすることができ、アプリに登録している医師からアドバイスを受けることができる。



アプリ利用の様子

## 大谷地長坂線道路改良舗装工事は計画どおりの進捗

議案第8号 白河市農村公園条例の一部を改正する条例のほか議案10件が付託され、いずれも原案のとおり可決及び同意されました。

### ● 議案第17号 大谷地長坂線道路改良舗装工事請負契約の一部変更について

Q | 現在の進捗状況と工事完成の時期は

A | 進捗率は62%で、令和8年6月11日の完成を見込んでいる。



大谷地長坂線の道路工事の様子

### ● 議案第28号 令和8年度白河市水道事業会計予算

Q | 人工衛星を活用したAI漏水調査について

A | 人工衛星から市内全域にマイクロ波を放射し、地中3メートルまでの漏水を調査する。  
宮城、岩手、山形、福島の15事業者で共同発注する予定であり、費用も抑制される。



Q | 工事に伴う消火栓設置の10箇所については地域の要望と思うが、設置の判断基準はあるのか

A | 要望があれば設置する方向で検討する。

### ● 議案第33号 令和7年度白河市一般会計補正予算(第8号)

Q | 松くい虫の空中防除の委託先はどこか

A | 委託業務の性質上、県が運行等の協議を行う株式会社ヘリサービス及び専門技術を持つ西白河地方森林組合の2者と、それぞれ随意契約をしている。



松くい虫の空中防除

## 白河市議会議員定数等検討特別委員会を設置

3月16日閉会日に、「白河市議会議員定数等検討特別委員会設置に関する決議」が、佐川京子議員及び植村美洋議員により提出され、採決の結果、全会一致で可決されました。



### 【提出された決議案】

白河市議会議員定数等検討特別委員会設置に関する決議

1. 本市議会に委員8人から成る特別委員会を設置するものとする。
2. 本特別委員会は、本市議会の議員定数及び報酬等についての調査研究を行う。
3. 本特別委員会は、第2項に掲げる調査研究が終了するまで、閉会中もなお継続して調査することができるものとする。

### 【特別委員会】

委員長 筒井 孝充 副委員長 戸倉 宏一

委員 植村 美洋 大木 絵理 水野谷正則 佐川 京子 大花 務 深谷 弘

## 令和7年度 白河市議会議員研修会

### ～福島県南地域の救急医療の現状と未来について～

1月23日、白河厚生総合病院救急治療科部長の安田貢先生を講師に招いて、福島県南地域の救急医療の現状と未来について講演していただきました。

先生は筑波大学脳神経外科、臨床医学系講師、東日本大震災を経験し、災害対策や支援活動を通じて、故郷福島への思いが強くなり、福島に戻られました。先生が具体的に実施された主な事例は次の通りです。

- ① 1市・4町・4村の救命救急医療の充実を図るため、令和7年1月、白河厚生総合病院に県南初の救急科を新設。常勤専任医3人を配置し、対応可能な患者に対処する体制へ。
- ② 地方医療過疎地域における病院前救護体制の強化のため、ドクターカーをドクターヘリとともに運用し、陸と空での救急充実へ。
- ③ 2024年からの社会実験を経て白河消防管内でドクターカーを標準的な病院前救護体制に組み入れ。
- ④ 白河厚生総合病院への救急車からの連絡体制を2024年11月末から変更。
- ⑤ 出前講座を積極的に実施して、救命救急医療の現状を地域住民と共有。

今回の講演で、救命救急医療の大切さを実感しました。一人でも多くの市民の方が、先生の出前講座を聴いて、救命救急医療の現状を共有することが大切だと感じました。



## 議会報編集委員会

## ～行政視察レポート～

所管事務調査の一環として1月29日に、埼玉県大里郡寄居町にて行政視察を実施しました。

〈参加者〉委員長：高島 裕 副委員長：戸倉 宏一  
委員：佐川 琴次 委員：遠藤 公彦  
委員：永山 均

埼玉県大里郡寄居町

### 【議会だよりの編集・発行について】

寄居町議会広報広聴特別委員会は、「読まれない議会だよりは出す意味なし」という編集方針のもと、多くの町民登場を心がけ、まずは興味を持って手に取ってもらえる広報誌をめざしています。全国町村議会議長会主催広報コンクールで日本一を3連覇している議会報であり、入賞以来全国から約300の議会が視察に訪れているとのことでした。委員自らがテーマを決めて町民に取材を行い、町民の声を忖度なく掲載しており、また、町民の目線に立って議員活動を分かりやすく伝えていきます。町民を第一に考える、町民を主役とした議会広報誌の作り方は、非常に学びが多く、大変参考になりました。本紙の議会広報誌が、さらに市民の皆様読みやすい、議会広報誌となるよう委員一同努めて参ります。





- ◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。
- ◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。
- ◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

# 一般質問

3月定例会では11名の議員が一般質問を行いました。本会議のネット中継及び録画配信を行っています。ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



3月定例会において多くの方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

## 複合施設の使用料と減免措置についてさらなる検討を

使用料は、安定的にサービスを提供する貴重な財源

公平性」を保ちながら、市内の学校や障がい者団体が利用する場合など、政策的で特例的な、真にやむを得ないものに限定する必要がある。使用料は、将来世代に渡って安定的にサービスを提供するための貴重な財源となるので、丁寧に説明し理解を求める。

**Q** 複合施設の使用料金について、これまでの公民館使用料よりかなり高額になり各種文化団体から、今後継続的な活動ができなくなると不安が広がっている。何とか継続できるように、激変緩和策もしくは、18歳以下同様にシニア世代にも減免措置をして欲しい。

**A** 使用料の減免適用は、「受益と負担の公平性」を保ちながら、市内の学校や障がい者団体が利用する場合など、政策的で特例的な、真にやむを得ないものに限定する必要がある。使用料は、将来世代に渡って安定的にサービスを提供するための貴重な財源となるので、丁寧に説明し理解を求める。



複合施設イメージ



佐川 京子 議員

**Q** 2月8日の衆議院選挙において自民党が歴史的大勝をし、盤石な高市政権が誕生しました。その過去最強の政権に期待し望むことと懸念することについて市長の見解、認識を伺う。

**A** 高市総理が掲げる「強い日本」の実現には、基盤

となる地方を元気にしていくことが何よりも重要。国会は、議論の場である。民主主義の原則である議論による合意形成のもとに、政策を推し進めていただきたい。

## DXで産業振興と行政改革

DX支援とSNSの正しい使用

**Q** SNSの普及によってさまざまな問題が発生しているが、学校現場ではどのように対処していくのか、考えを伺う。

**A** インターネットを使用する際に、人を傷つけない、情報を正しく判断し危険を避けるように指導している。家庭での話し合いを通してスマートフォン正しい使い方の習慣を身につけさせている。

**Q** 行政改革においてはどのようにDXを推進していくのか、考えを伺う。

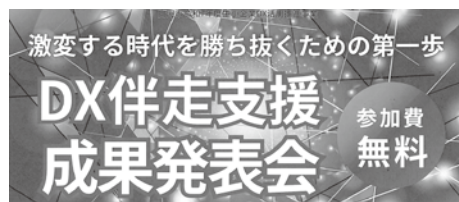
**A** 行政手続きのオンライン化、キャッシュレス化などを行ってきたが、今後は各種業務手順の見直し、公共施設のオンライン化、24時間対応のAI相談窓口の整備を行っていく。



植村 美洋 議員

**Q** DXは事業の効率化などの効果が期待できるが、DXを活用してどのように産業振興を行うのか、考えを伺う。

**A** 産業支援センター内に



3月6日に実施した商工課主催の発表会

# 市民一人一日当たりのごみ排出量は

生活系ごみ675g 事業系ごみ304g 計979g



室井 伸一 議員



**Q** ごみ削減の現在の対策と今後の取り組みについて伺う。

**A** ダンボールコンポストや生ごみの水切り袋、リサイクルのための雑紙保管袋などを配布し、ごみの減量を促してきたが、新年度から、より一層の減量化を図

るため、ごみ組成分析調査の実施、生ごみ処理機の購入費用の一部を助成、試験的に生ごみを回収するボックスを集会所等に設置し堆肥化、小学生を対象とした環境学習を実施するとともに、若い世代や転入者を対象としたユーチューブによるごみの分別及び減量に関する情報を発信し、ごみ減量の意識の醸成を図っていく。

**Q** 令和8年度の小学生の給食費に対する保護者負担について伺う。

**A** 国による負担軽減のための支援（5、200円）を除く保護者負担は、物価高騰対応交付金を活用し、市が補助することで負担が無く、実質無償化になる。



# 本市の地域医療構想について伺う

将来にわたり持続可能な地域医療体制をつくる



戸倉 宏一 議員



**Q** 市民が安心して暮らすことができる地域医療体制について市長の考えを伺う。

**A** 我が国は国民皆保険制度の下で、世界の最高レベルの平均寿命と保健医療水準を実現している。一方、病院では医師不足、医療機器等の高騰が経営を圧迫し

ている。全国の約7割の病院が赤字経営である。特に産科、小児科、救急科等の医師不足が顕著である。市では奨学資金貸与や入学一時金貸付、看護師等の資格取得を目指すひとり親家庭に対する給付制度により、人材の確保、定着に取り組んでいる。「医療は社会的共通資本」の一つであり、近隣自治体と連携を密にし、将来にわたり安心して暮らし続けられる「持続可能な地域医療体制」を確立する。

**Q** 林野火災は近年、全国的に多発し大規模化している。本市の林野火災の現状と消防団の装備状況を伺う。

**A** 林野火災は焚火や野焼き等の不注意で発生している。一定の降水量を下回った状況で、乾燥、強風が続く時は「林野火災警報」を発令し、火の使用を制限する。消防団の装備は機動力の高い装備品を計画的に更新する。



# 本市に車中泊避難所の設置が必要では？

今後、調査・研究を進めていく



遠藤 公彦 議員



**Q** 災害発生時に、やむを得ない事情で車中泊避難を選択する市民のために、車中泊避難所を設置し、車中泊避難ガイドブックを作成するとともに、「白河市防災マップ」に車中泊避難所を新たに記載すべきと考えますが、市の見解を伺う。

**A** 車中泊避難は、身体的リスクや、生活支援の孤立を招くリスクの課題もあることから、今後、国のガイドラインや先進事例も参考にしながら、調査・研究を進めていく。

**Q** 本市の高齢者や障がい者、認知症の方々を消費者被害から守るため、地方公共団体及び地域の関係者が連携して見守り活動を行う、消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）の設置が必要と考えるが、市の見解を伺う。

**A** 消費者安全確保地域協議会は、被害の未然防止などに有効な組織であると認識している。協議会の設立については、今後、消費者庁や県消費者センターの意見も参考にしながら、構成8町村と協議を進めていく。



# 若い世代の自殺者が増加傾向にあるが、市の取組は

悩みを抱え込まず、相談できる環境づくりに努める



佐川 琴次 議員



**Q** 全国的に若い世代の自殺者が増加傾向にあるが、市として若い世代を含めた全世代の自殺対策の取り組みを伺う。

**A** 市内小中学生を対象に、命の大切さを実感するとともに、困難に直面した時の対応方法・SOSの出し方などを学ぶ、助産師や臨床心理士による「命の教育」を実施している。今年度は新たに市内小中学校の教職員を対象に、気づき、声かけ、話を聴くなどの支援につなげ、見守ることの大切さの理解を深める「ゲートキーパー養成研修会」を実施し、子供たちにとって身近な存在の教職員が子どもの小さな変化に気づき、適切な支援につなげるよう意識を高めた。さらに生きる希望や勇気を与えてくれた「私の推し本コンテスト」を通して、生きることについて前向きに考えるきっかけを発信している。一方、乳幼児健康診査では臨床心理士による心理相談を行い、一人で悩みを抱え込まないよう心の相談カードを作成し担当者に配付している。さらに、関係部署と情報を共有し、庁内連携会議を設置し、自殺対策を推進している。

心相談カードを作成し担当者配付している。さらに、関係部署と情報を共有し、庁内連携会議を設置し、自殺対策を推進している。



# 子育て世代が魅力を感じる街なか再生をどうするのか

空き家対策、土地活用、住宅取得の3事業を一体的に支援する

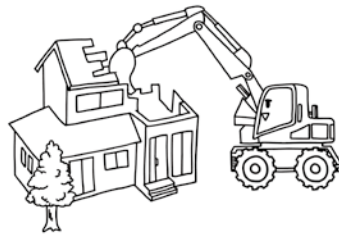


高橋 光雄 議員



**Q** 街なかの空き家、空き地が年々目立つようになってきた。今年度の重点事業として空き家対策、土地活用、住宅取得の包括的支援策が予算計上されている。3事業の包括的な支援策によって期待される具体的な効果について伺う。

**A** 空き家の解体、街なか居住区域での民間事業者が行う2区画以上の宅地造成、および同区域内での子育て世帯による新築または中古住宅の取得を一体的に支援することにより、空き家を解体して、活用しにくい土地を宅地として再生し、次世代の居住を促すことで、地域活力の向上に努め、持続可能なまちづくりに取り組む。



**Q** 企業誘致は、雇用創出や税収の拡大を通じて、本市の発展に大きく貢献してきた。人手不足のなか、今後の企業誘致をどうするのか、その方針を伺う。

**A** 半導体関連やデータセンター、ICT関連など成長分野を中心に企業誘致を進めると共にワークライフバランスに配慮した企業という視点も大切にしたい。

# 高齢者にもしものことが発生した場合の対応は?

緊急通報装置を貸与し、コールセンターへつなぐ



大竹 功一 議員



**Q** 最近、近隣の独居高齢者が自宅内の風呂場で孤独死していた。高齢者にもしものことが発生した場合の対応について伺う。

**A** 高齢者の見守り事業として、緊急通報装置を貸与し、急病や事故等の緊急時にボタンを押すとコールセンターへ直接つながる事業を紹介している。また、人感センサーを設置し、室内等で人の動きがなく急病や事故等の恐れがある場合に、コールセンターに登録している緊急連絡先や警察・消防等に通報がいき、安否確認を行える。今後は、市民に対して制度の周知を図り、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できる見守り体制を充実させていく。



**Q** 健康ポイント事業の内容について市の考えを伺う。

**A** 歩数や体重などのデータをスマートフォンアプリで確認することにより、健康状態の変化を実感しながら楽しみつつ継続的に健康づくりに取り組むものである。また、日々のウォーキングの測定や健康検診の受診参加によりポイントが付与され、貯まったポイント数に応じてクオカードなどの賞品と交換している。

# 市民が利用しやすいスポーツ施設の整備

利用者ニーズを踏まえ検討する



菅原 修一 議員



**Q** 野球場の電光掲示板化について伺う。

**A** 健全度調査に基づく改修の優先順位や財源確保の見通しも踏まえ、対応を検討する。

**Q** しらさかの森多目的グラウンドのサッカーゴールの増設について伺う。

**A** 多目的グラウンドの利用率や団体の意見を踏まえて判断する。

**Q** 人工芝グラウンド（白河グリーンフィールド）の建設場所は、多くの市民が最も利用しやすい総合運動公園周辺に建設すべきと考えるが、なぜ表郷運動公園に建設を決めたのか伺う。



郡山市「仙台大学サッカーフィールド郡山」を視察

**A** 各運動公園など、6か所を候補地として比較検討した結果、サッカー場として利用率が最も多く、隣接する施設を有効に活用でき、県南地域の中心に位置することから決めた。

**Q** 若者から要望の多いスケートボード場の設置について伺う。

**A** スケートボードに対するニーズの把握を行っており、調査を踏まえて先進事例を参考に必要性について調査研究する。

# 白河市が「消滅可能性自治体」！

深く受け止め、若者や女性に選ばれる魅力ある「まち」づくりを



柴原 隆夫 議員



**Q** 本市は、人口戦略会議が公表する将来的に消滅する可能性が高い消滅可能性自治体（ふるさとの消滅）に入っている。本市の子ども数は急速に減少しており、例えば、かつて中央中学校は県一のマンモス学校で1800名もの生徒がいたが、現在はずか約430名まで減少している。地域ではかつて賑わいの象徴であった学校が一つ、また一つ消えている。合併後の2006年2月の消滅可能性自治体の要件である子どもを産む年齢層の20代から30代の若年女性の人口は7684人、2026年2月では4597人で、3087人も減少している。このまま子ども数の減少が進めば人口戦略会議の予測どおり白河市は消滅してしまう。このことをどのように受け止めているのか。

**A** 深く受け止めており、若者や女性に選ばれる魅力ある「まち」となるよう、これまでの成果を踏まえつつ、引き続き、雇用の創出、子育て支援の充実、移住・定住の促進などに力をいれていく。



# 令和8年度の小・中学校給食費はどうか

小学校は実質無償化、中学校は前年据え置き



深谷 弘 議員



**Q** 市における令和8年度の学校給食費は、食料費高騰対策として市補助金（財源は国の交付金＋一般財源）を充当し、小学校では国からの新たな負担軽減措置が行われ、保護者負担はなくなる見通しである。国からの新たな負担軽減措置の財源はどのような形で市に入るのか。

**A** 国の交付金2分の1と県の負担分2分の1を合わせた額が県より市に交付され、この交付金（国基準額・1食あたり月額5200円相当）を「給食費負担軽減補助金」として給食費に補助する予定である。なお県負担分には、国からの財政措置がある。

**Q** 中学校給食費は、物価上昇分を市が全額補助し、令和7年度と同額に据え置きとなる方針である。この際、さらに中学校給食費の保護者負担をなくすために必要な財源はどれくらいか。（※ちなみに、令和6年度決算の中学校保護者徴収額は、約9546万円である。）

**A** 令和8年度予算で算定すると、年間1億2440万円となる。



## 6 月定例会の予定 正式には開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

6月11日（木）本会議【開会、会期決定、提案理由説明】

6月17日（水）本会議【一般質問・質疑1日目、委員会付託（請願・陳情）】

6月18日（木）本会議【一般質問・質疑2日目】

6月19日（金）本会議【一般質問・質疑3日目、委員会付託（議案）】

6月22日（月）委員会【各常任委員会・付託案件の審査】

6月24日（水）本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

ぜひ、議会傍聴にお越しください。

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。



こちらのQRコードを読み込んでください。



取材レポート

# 安珍・清姫供養祭

東北中1年生、地域伝統芸能を継承

3月27日、本市根田地区に数百年伝わる歌念仏「安珍踊り」が萱根の安珍堂で営まれました。今から約一千年前、一人の若い修行僧安珍が故郷白河の地を離れ熊野へ向うところから始まる「安珍と清姫道成寺物語」は、歌舞伎界で人気演目の「娘道成寺」の題材となっており、映画「国宝」でも披露されています。



根田安珍歌念仏保存会(十文字初枝会長)から指導を受けた東北中1年生34人が県重要無形民俗文化財「安珍歌念仏踊り」を披露し、続いて会員7名の皆様も踊りを奉納しました。地元、自治体、会員、生徒、学校が一体となって地域伝統芸能を継承保存してゆく姿こそが市の宝、市宝です。

(取材担当：戸倉宏一)

## 編集後記

いつも議会だよりをご覧いただきありがとうございます。表紙のデザインが変わったことに、気づかれた方も多いのではないのでしょうか？寄居町議会への視察で学んだことを生かし、市民の皆さんが、より「開きたい」と思えるような表紙にしようというので、あらたに挑戦しました。

年度が変わり、皆さんのなかにも新しいことにチャレンジしている方も多くと思います。本市議会も新たな挑戦を重ねながら、より見やすくわかりやすい議会だよりづくりに取り組んでまいります。

委員 大木絵理

### 議会報編集委員会

永山 均 大木絵理 佐川琴次 遠藤公彦



高富裕委員長

戸倉宏一副委員長